

高校生として体感する「カナダ」

今回の研修では、従来の中学2年生に加えて、高校生も参加対象として募集しました。参加した高校生2名は、現地にて高い目的意識を持って研修に取り組み、参加生徒をまとめるリーダーとしても活躍しました。

来年度以降も、英語検定準2級以上を有する高校生を対象に、参加を呼び掛ける予定です。



「ピースアーチ」
◀カナダとアメリカの国境



藤枝明誠高校3年
宮島 洸樹

研修プログラムの修了を記念し現地での講師と。

答できず苦戦しました。今回はその反省もふまえて、ホームステイ先での会話の応答と積極的に話しかけることに重点をおいて、研修に臨みました。

ホストファミリーは、優しく面白い方々で、私もホームステイを楽しむことができました。車の送迎の際や家の中でたくさん話しかけてくれて、会話を楽しむとともに、しっかり応答もできました。また、少しだけですが、自分から話しかけて会話を発展することもできました。ホストファミリーは日本に何度か訪れたことがあるようで、日本の食事、建物、観光、名物などについてたくさん話すことができました。静岡にも訪れたことがあったそうなので、川根本町も紹介したら「行きたい」と言ってくれました。その他にも、走ることが好きな私のために一緒にジョギングしたり、プールに連れて行ってってくれたりしました。お別れのときは寂しかったですが、ホストファミリーが「またいつでも歓迎するよ」と言ってくれて、カナダにもうひとつの家族ができたと感じました。

ホームステイ以外でも、先生方やスタッフの方々と全て英語で会話するなど、本当に良い経験ができました。この経験を糧とし、自分の夢をかなえ、川根本町に貢献できるように、努力を怠らず頑張ります。

カナダでできた、もうひとつの家族。
経験を糧に、自分の夢をかなえたい。

私は将来、英語の教員になるという夢があります。そのためには、高い英語力が必要不可欠です。そこで、自分の英語力を試し、向上させたいと思い、この研修に参加しました。

私は、中学2年生のときにこの研修に、また昨年は修学旅行としてカリフォルニアにて2週間のホームステイを経験しました。その際は、言っていることが理解できても、上手に英語で返

【研修に参加した生徒と引率教員】

- ▶ 本川根中2年: 芦沢颯汰、大村詩央音、小林叶愛、滝浪涼介、芹澤奈々、不二山颯人、横道蘭
- ▶ 中川根中2年: 渥美浩輝、大橋優也、大森彩、栗原磨袋斗、河畑真央、榊原優羽、下原灯理、鈴木海莉、鈴木陸、高畑菜悠、戸塚光風我、中村光揮、中村日和、西田就真、西村咲希、前田麟太郎
- ▶ 静岡大学付属島田中2年: 勝山穂乃香
- ▶ 高校生: 宮島洸樹(藤枝明誠高校3年)、鈴木瑠菜(島田高校1年)
- ▶ 引率教員: 羽入健太郎(本川根中)、相藤由里(中川根中)、芦澤奈緒(川根高校)



私は、とにかく積極的に話をしてみようと思いき、出発しました。現地の研修では、英語だけで会話する高校生用のプログラムを組んでいただきました。また、ひとりで学生や一般の人にインタビューもしました。不安で、その人たちの言っていることを理解するのもとても大変でしたが、とても良い経験になりました。

ホストファミリーは私によく話しかけてきてくれ、たくさん会話をすることができました。ホームステイ先には中国人の学生もいて、一緒にショッピングに出掛けたりもしました。コミュニケーションをとることは苦手でしたが、できるだけ自分から話しかけ、発音にも意識しながら会話をしました。おかげで耳が英語に慣れ、研修に行く前よりも英語が聞き取れるようになったような気がします。

カナダでの生活によりやく慣れ、ホストファミリーたちとも仲良くなり、もっと話をしたいと思っていた頃に帰国しなければならないのは、とても残念なことでした。10日間は長いようですが、とても短く、私はもっと時間をかけて英語

いつか留学して英語を学びたい。
そのために今後自分がすべきことは。

を学びたい、いつか留学したいという気持ちが強くなりました。

私は、中学2年生のときもこの研修に参加しました。今回、高校生として、またカナダへ行くことができうれしかったです。高校では、中学より進路について考えることが多くなります。海外へ行くことはとても刺激になり、将来、いろいろなことに影響してくると思います。中学生のときは、観光客の意識が強く、友だちとばかり話をしていました。しかし今回は、今後自分が何をすべきかを確認することができた研修となりました。



島田高校1年
鈴木 瑠菜

ホームステイ先のホストファミリーと。

